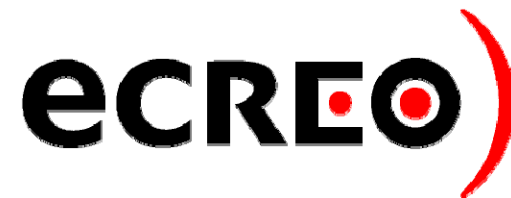

2007年3月期決算報告

株式会社 クレオ

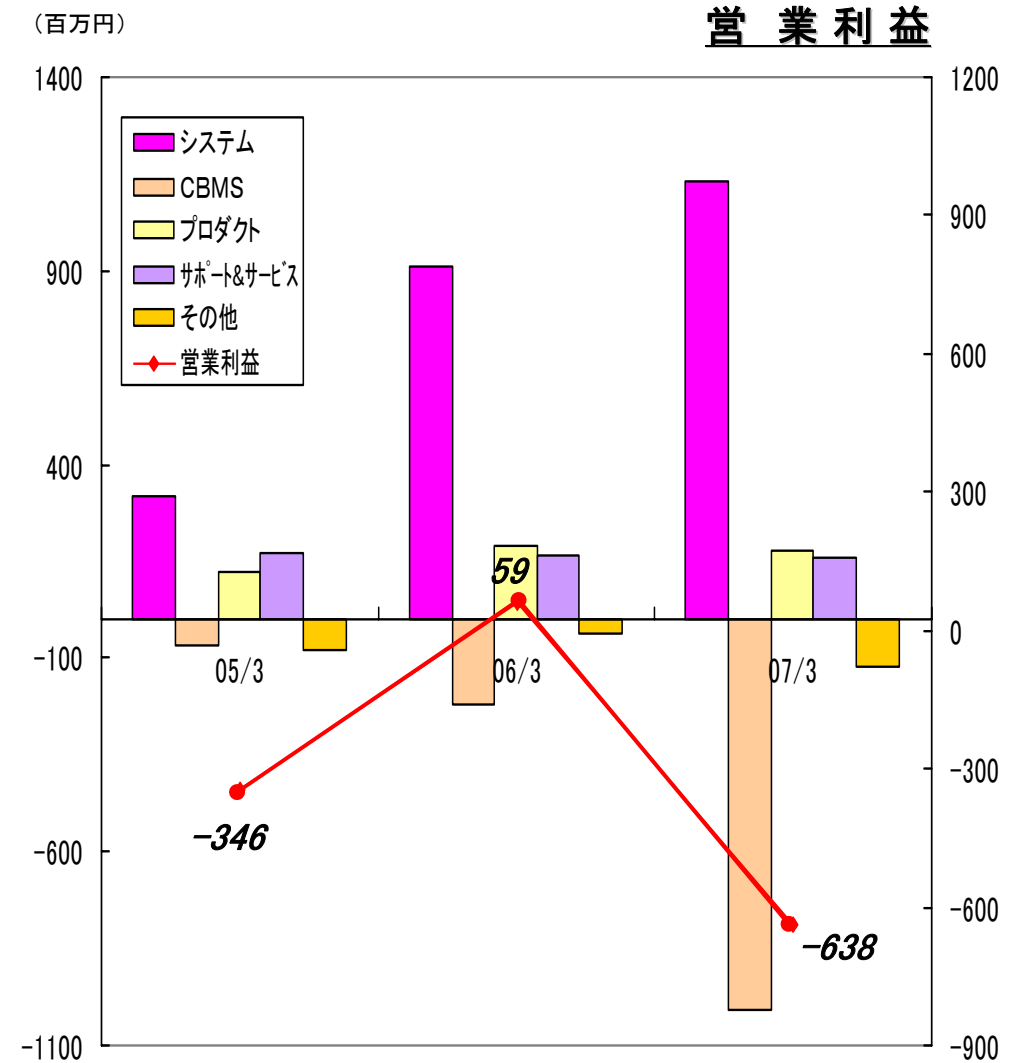
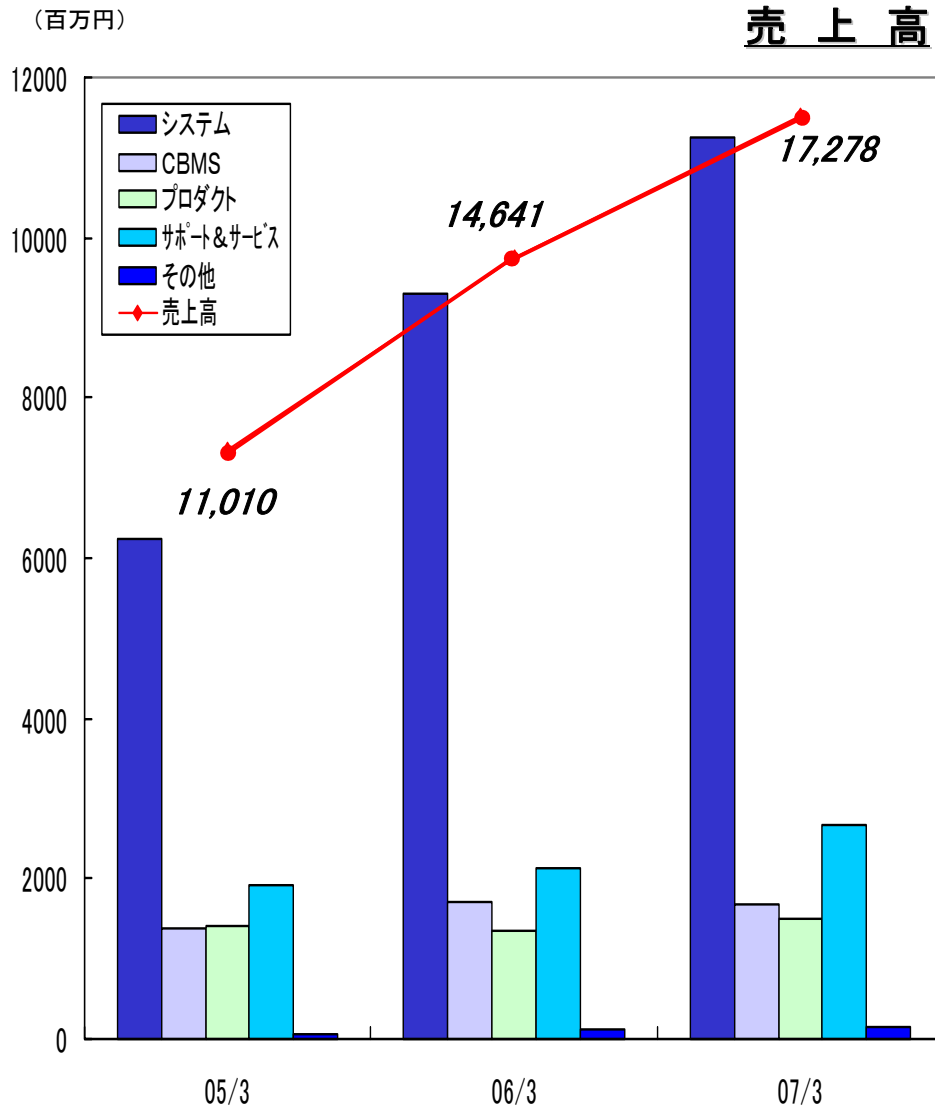
2007年 5月 7日



決算ハイライト

- 2007年3月期の売上高は17,278百万円（前期比18.0%増）、経常損失691百万円（前期は経常利益1百万円）、当期純損失は963百万円（前期は当期純損失209百万円）となった。
- システム開発事業は、中央システムが通期ベースで寄与（前期は下半期のみ）したこと、ヤフー向け及びメーカー系等のシステム開発事業の好調により売上高11,255百万円（前期比21.0%増）、営業利益1,128百万円（前期比23.3%増）となった。
- CBMS事業は、ライセンス販売に傾注し、サービス系の売上が伸びなかったため総額の売上高は微減。マスター資産の償却を前倒しで実施したこと、トラブルPJ対応や品質管理体制の強化にともなう営業費用の増加により、売上高は1,677百万円（前期比1.8%減）、営業損失は1,009百万円（前期は営業損失222百万円）となった。
- サポート&サービス事業は、既存顧客からの受注増加により売上は増加した。一方で、新規拡充に向けて採用活動を積極化したことから営業費用が増加した。この結果、売上高は2,676百万円（前期比25.2%増）、営業利益は160百万円（前期比3.9%減）となった。
- その他の事業は、POP及びFACE Conferenceの他、下期より子会社サイオのldbAが加算された。この結果、売上高は163百万円（前期比26.7%増）、営業損失は125百万円（前期は営業損失36百万円）となった。

2007年3月期 決算の概要



2007年3月期 損益計算書の概要

〔百万円未満は切り捨て〕

| 主な科目 | 07/3 | | 06/3 |
|----------------------|--------|-------|--------|
| | 金額 | 前期末増減 | 金額 |
| 売上高 | 17,278 | 2,636 | 14,641 |
| 営業費用 | 17,917 | 3,336 | 14,581 |
| 営業利益(△は営業損失) | △638 | △698 | 59 |
| 営業外損益 | △52 | 6 | △58 |
| 経常利益(△は経常損失) | △691 | △693 | 1 |
| 特別利益 | 734 | 675 | 58 |
| 特別損失 | 543 | 375 | 167 |
| 税引前当期純利益(△は税引前当期純損失) | △500 | △392 | △107 |
| 法人税等 | 195 | 88 | 107 |
| 法人税等調整額 | 301 | 343 | △42 |
| 少数株主利益(控除) | △33 | △69 | 36 |
| 当期純利益(△は当期純損失) | △963 | △754 | △209 |

◆主な増減ポイント

- ・売上高及び営業損益については、決算ハイライトの通り
- ・特別利益：中央システム株式の売却益680百万円
- ・特別損失：ソフトウェア評価損392百万円等
- ・法人税等調整額：繰延税金資産の取り崩し

2007年3月期末 貸借対照表の概要①

〔百万円未満は切り捨て〕

| 主な科目 | 07/3 | | | 06/3 | |
|-------------|--------------|--------|---------------|---------------|--------|
| | 金額 | 構成比 | 前期末増減 | 金額 | 構成比 |
| 資産合計 | 8,567 | 100.0% | △1,978 | 10,545 | 100.0% |
| 流動資産 | 6,351 | 74.1% | △943 | 7,295 | 69.2% |
| 現金・預金 | 1,744 | | △377 | 2,121 | |
| 受取手形及び売掛金 | 2,720 | | △980 | 3,701 | |
| 棚卸資産 | 382 | | △588 | 970 | |
| 繰延税金資産 | 64 | | △312 | 376 | |
| その他 | 1,440 | | 1,312 | 125 | |
| 固定資産 | 2,215 | 25.9% | △1,034 | 3,249 | 30.8% |
| 有形固定資産 | 208 | | △34 | 243 | |
| 無形固定資産 | 1,154 | | △499 | 1,653 | |
| ソフトウェア | 723 | | △741 | 1,465 | |
| のれん代 | 413 | | 244 | 169 | |
| その他 | 16 | | △1 | 17 | |
| 投資等 | 851 | | △501 | 1,353 | |

◆主な増減ポイント

- ・全般的に、中央システムの期末売却により、貸借対照表を連結していない。これにより総資産が減少。
- ・ソフトウェア等の償却と中央システム売却による流動性の改善により、流動比率は改善傾向にある。

流動資産

棚卸資産：前期末にクレオで大型案件の繰越があり相対的に減少

繰延税金資産：取り崩しによる減少

その他：主に中央システム株式売却にともなう未収入金1,312百万円

固定資産

ソフトウェア：償却による減少

のれん代：CCLの完全子会社化、ネットジーンの買収により増加

投資等：投資有価証券売却、繰延税金資産の取り崩しによる減少

2007年3月期末 貸借対照表の概要②

〔百万円未満は切り捨て〕

| 主な科目 | 07/3 | | | 06/3 | |
|------------------------|--------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| | 金額 | 構成比 | 前期末増減 | 金額 | 構成比 |
| 負債合計 | 3,627 | 42.3% | △818 | 4,446 | 42.1% |
| 流動負債 | 2,743 | 32.0% | △557 | 3,300 | 31.3% |
| 買掛金 | 703 | | △399 | 1,103 | |
| 1年内借入及び社債 | 305 | | △51 | 356 | |
| その他 | 1,733 | | △107 | 1,840 | |
| 固定負債 | 884 | 10.3% | △260 | 1,145 | 10.8% |
| 1年内借入及び社債 | 694 | | △155 | 850 | |
| その他 | 190 | | △105 | 295 | |
| 少数株主持分 | 61 | 0.7% | △147 | 208 | 2.0% |
| 純資産合計 | 4,877 | 56.9% | △1,013 | 5,890 | 55.9% |
| 資本金 | 3,149 | | — | 3,149 | |
| 資本剰余金 | 3,761 | | — | 3,761 | |
| 利益剰余金 | △1,900 | | △991 | △908 | |
| 自己株式 | △138 | | △2 | △136 | |
| 株式等評価差額金 | 6 | | △19 | 25 | |
| 負債、少数株主持分及び資本合計 | 8,567 | 100.0% | △1,978 | 10,545 | 100.0% |

◆主な増減ポイント

- ・負債：内製化等による買掛金の減少、借入返済及び社債の定時償還による有利子負債の減少
- ・純資産：当期純損失による減少

※少数株主持分については、前期比較のため従来の表示と併せております。

2007年3月期 連結キャッシュ・フロー計算書の概要

〔百万円未満は切り捨て〕

| 区 分 | 2007/3期 | 2006/3期 |
|-----------------------|--------------|---------------|
| 営業活動CF | △215 | 457 |
| 税金等調整前当期純利益 | △500 | △107 |
| 減価償却費 | 919 | 586 |
| 関係会社株式売却益 | △674 | — |
| 売上債権の増減額(増加:△) | 373 | △355 |
| たな卸資産の増減額(減少:△) | 565 | △209 |
| 仕入債務の増減額(減少:△) | △169 | 47 |
| その他 | △729 | 495 |
| 投資活動CF | 22 | △1,472 |
| 無形固定資産の取得 | △399 | △831 |
| 子会社株式の取得による支出 | △524 | △347 |
| 子会社株式の売却による収入 | 751 | — |
| その他 | 194 | △292 |
| 財務活動CF | △251 | 459 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 1,744 | 2,121 |

◆主な増減ポイント

- ・ 営業活動CF：その他に中央システム株式売却の未収入金を含む（4月入金）
- ・ 投資活動CF： ソフトウェア開発投資の減少（前期4億円超減少）

CC Lとネットジーンの株式取得による支出、中央システム株式売却による収入

- ・ 現金及び現金同等物： 中央システムの連結除外による減少

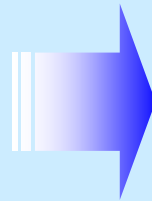
セグメントの変更

◆セグメントの変更について

～事業再編に伴いセグメントを一部変更致しました～

【2006年度】

- ・システム開発事業
- ・CBMS事業
- ・プロダクト外サービス事業
- ・サポート&サービス事業
- ・その他事業



【2007年度】

- ・システム開発事業 (ヤフー向け及びメーカー系受託開発)
- ・ZeeM事業 (ZeeMを中心とする法人向け製品及び周辺ソリューション事業<自主ブランドビジネス>)
- ・コンシューマ事業 (個人向けプロダクト : 変更なし)
- ・サポート&サービス事業 (CCL : 変更なし)
- ・モバイル事業 (ネットジーン : **新規**)
- ・その他事業 (サイオ、パワーウィングス)

変更のポイント

- ①システム開発事業のうち、ZeeMの周辺ソリューションを手がける部門をZeeM事業に移管
- ②法人向けプロダクトをZeeM事業に統合 (従来はその他に含まれていた)
- ③モバイル開発事業を新たに新設 (前期はネットジーンが持分法のためセグメント開示なし)

2007年度の計画

(百万円)

| | 06年度/第1Q | 07年度/第1Q | 06年度/中間 | 07年度/中間 | 06年度/通期 | 07年度/通期 |
|-------|----------|----------|---------|---------|---------|---------|
| 売上 | 3,573 | 2,260 | 8,460 | 6,300 | 17,278 | 14,000 |
| 営業利益 | △265 | △380 | △145 | 98 | △638 | 410 |
| 経常利益 | △278 | △380 | △186 | 90 | △691 | 400 |
| 当期純利益 | △302 | △400 | △244 | 40 | △963 | 250 |

<中間及び通期見通し>

- ・中央システムが前期連結子会社であったが、今期は連結から外れるため売上高は各期とも大幅に減少
- ・利益については、ZeeM事業の改善により利益回復を見込む

<第一四半期の見通し>

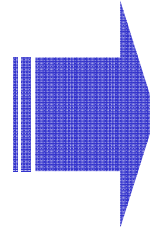
- ・例年第1Qはコンシューマ事業の売上が他の四半期に比べて少ないこと、及び法人向け事業においても顧客検収が少ないため売上/利益とも厳しい状況になる
- ・売上高は2,260百万円(前年同期比36.7%減)、営業利益は△380百万円(前期は△265百万円)と予想
- ・前期はシステム開発事業において大型の繰越案件があったため、当該セグメントが通常以上に堅調であった
- ・ネットジーンが5/10付で合併となり、持分プーリング法による処理のため、のれんを引継ぐ予定(約200百万円)
- ・将来に向けた投資の増加(ネットサービス等)及び内部統制への対応コスト増等、費用面保守的に計上

ZeeM事業の回復がカギ

◆2006年度

ソフトウェア償却費 6.6億

品質管理コスト 4億



◆2007年度

ソフトウェア償却費 3.4億
(約3億減)

品質管理コスト 2億
(約50%減)

周辺ソリューションの拡大、
効率化による利益率アップ

- 売上目標を現実的な線とし、確実な回復を目指す。
- ライセンス販売傾注から、SaaS化等のストックベースで収入計上できるモデルを志向する方針に転換。一方で開発コストは保守的にできるだけ早く償却。

※SaaS(Software as a Service): インターネットを通じてアプリケーションソフトウェア等を提供するWebサービスの一形態で、アプリケーション構成の柔軟性を特徴とする。